



上川井だより

令和2年9月30日
横浜市立上川井小学校
校長 山崎 真紀子

10月号

DO THE BEST

秋分の日を境に涼しい風が吹き、一気に秋めいて参りました。

子どもたちは、今、来月の上小オリンピックに向けて毎日練習に励んでいます。6年生が4年生に上小魂の振り付けを教えたり、朝の時間に各学年の代表が集まってリレーの練習をしたり、取り組む様子も生き生きとしています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を予防するために、例年とは違った形での開催となります。密を避け人との間隔を保つことができるように、種目も精選しました。リスクを避けるために時間も短縮しています。大きな声は飛沫感染の恐れがあるため、応援合戦や合唱も行わず、勝敗もつけません。それでも、一人一人が一生懸命取り組み、カー杯走り、踊り、競い合います。

～一人一人がベストをつくし みんなかがやく上小オリンピック 2020～これが、子どもたちが掲げた上小オリンピックのテーマです。めざすのは、今できること、すべきことに全力で取り組む姿です。当日は、是非子どもたちの勇姿に大きな拍手で応援をお願いいたします。

さて、先日のお便りでもお知らせしましたが、今年度から学習指導要領が新しくなり、それに伴いあゆみの形式も新しくしました。全教科において評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つに再整理されました。それぞれの教科で新しく学んだことがどれだけ身につくか、どう生かすことができているか、学びの過程で自分を振り返りながらどう成長しているかについて評価しています。習ったことを覚えることも大切ですが、新たな情報が日々更新される現代においては、それだけではより高い壁にぶつかったときに行き詰まってしまう。知識や技能は活用してこそ生きる力となるのです。獲得した知識を生かして新たな問題をどう解決すれば良いか自分なりに考え、試行錯誤し、友達と意見を交えながら取り組む姿が目標です。上小オリンピックの取組も日々の学習も、Do the best.です。「できることは何か」＝知識・技能、「友達と意見を交えながらどうやって解決すれば良いか考え」＝思考・判断・表現、「学びの過程で自分を振り返りながら取り組む」＝主体的に学習に取り組む態度の3つの力を育てていきます。まさに、一人一人がベストをつくし みんなかがやく上川井小学校がテーマです。

新しいあゆみが渡されたとき、◎や△の数に一喜一憂することなく、学びを振り返り新たな目標の手がかりとしていただけたらと思います。3つの力が伸びていくように、私たち教職員もDo the bestを胸に取り組んでいきたいと思っています。